

ウンカ情報第2号

令和2年7月16日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

トビイロウンカが本田、予察灯ともに確認されました！！ セジロウンカの本田発生量、予察灯誘殺数は平年並です

1 トビイロウンカ

7月上旬巡回調査の本田すくい取り調査において、岡崎市で1頭、新城市で1頭、豊川市（2ほ場）で1頭及び3頭捕獲されました（過去10年間で最も多い）。また、長久手市の予察灯において7月10日に1頭誘殺されました（過去10年間で2番目に早い）。

また、本年は飛来に適した気象条件が20回以上出現しており、県内各地で坪枯れが多発した平成20年よりも飛来予測回数が多い状況となっています。このため、**県内の広い範囲で複数回飛来している可能性があります。**

地域やほ場により発生状況が異なるため、ほ場内に入って株元をよく観察するなど、今後の発生に注意してください。

2 セジロウンカ

7月上旬の本田すくい取り調査において、104ほ場中、県内全域の25ほ場で成幼虫が捕獲されました。発生量は平年並です（表1）。

予察灯では6月15日に大口町で、7月第1半旬から第2半旬にかけて豊川市で誘殺されていますが、誘殺数はほぼ平年並です。発生量についてはほ場間の密度差が大きいと思われるので、ほ場をよく観察し、今後の発生に注意してください。

表1 セジロウンカの本田調査結果（頭：令和2年7月上旬）

調査方法	成虫	幼虫	計
捕虫網による20回すくい取り	0.76(0.66)	0.07(0.42)	0.83(1.08)

()内は、平年値（平成22～令和元年の平均）

表2 セジロウンカの予察灯における誘殺数（頭：令和2年）

月	半旬	長久手市	大口町	弥富市	西尾市	豊川市
6月	第6半旬	0(0.2)	0(0.4)	(0.0)	0(0.1)	0(0.1)
7月	第1半旬	0(0.7)	0(2.1)	(0.0)	0(0.1)	2(2.0)
	第2半旬	1(1.2)	(1.1)	(0.0)	(0.3)	5(0.3)

()内は平年値（平成22～令和元年の平均）、空欄は調査中